

金大中氏処刑を断じて許すな

日刊 動労千葉

80.12.5

No. 599

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）0422（22）七二〇七

本日 全労連の全労連抗争集会「減産闘争の総決起をもつて、処刑攻撃を粉碎しよう」



軍法会議初公判に出廷した金大中氏（8月14日）

全ての組合員の皆さん！ 血にうえた軍部独裁者・全斗煥が、今日明日にも金大中氏抹殺の手を下とうとしている。長き正政に抗し敢然と立ち斗った光州人民、金大中氏ら民主人士の側にこそ歴史の正義は有る。断罪され打倒されるべきは全斗煥とそれを背後で支える反動鈴木体制だ。金大中氏を殺させてはならない。動労千葉闘争委員会を怒りをこめ断固たる抗議の叫びに起つよう、全組合員に以下の闘争指令を発する。12月5日（土）延長阻止現地闘争の圧倒的勝利と固く結合させ、この叫に総力で決起しよう！ 取場から怒りの炎を！

動労千葉闘争指令才二号

金大中氏死刑判決―処刑強行策動 抗議闘争の実施について

韓国・全斗煥独裁体制は、金大中氏への抹殺策動を強め、12月5日大法院判決↓6日死刑強行の動きに出ており事態は極めて緊急かつ重大な局面へ急進している。……（略）……十一月三日、「政治風土刷新特別措置法」の制定をもって全ての反対派の政治活動を八年間禁止した全斗煥が、金大中氏処刑を皮切りに全ての闘う人民を抹殺しようとしている意図のはっきりした恐るべき攻撃である。

この事態に、政府・自民党は鈴木首相発言で死刑強行のための世論作りに協力し、財界は利権の争奪をかけた全斗煥詣でを競い、全面的全斗煥支持体制を強化している。

本部は、具労連からの要請による駅頭行動や集会への結集をかちとってき、経緯にふまえ、急迫する金大中氏死刑判決―処刑強行策動に満腔の怒りをこめ抗議する叫びの実施について次の通り指令する。

1. 各支部は12月5日昼休み時間帯を中心に、勤務時間帯に29分間くいの取場集会を開催し、情勢と叫びの意義について全体の意志統一を図ること。
 2. 各支部は12月6日始発（始業）時より24時まで全組合員を対象とする減産闘争（A行動）を実施すること。
線区別危険箇所指定は次の通りとし、制限速度は45km/h以下とする。
- | 線区 | 指定箇所 |
|-----------|----------------------------|
| 総武本線（中央線） | 東中野―大久保
船橋―津田沼
八街―日向 |
| 成田線 | 佐松
成田―久住、佐原―香取 |
| 我孫子 | 布佐―新木、湖北―東我孫子 |
| 鹿島線 | 全線 |
| 内房線 | 現在実施中の箇所 |
| 外房線 | 菅田―土気、新茂原―本納 |
| 東金線 | 全線 |
| 久留里線 | 木更津―久留里 |
| 木原線 | 全線 |
3. 7日以降の叫びについては、状況の推移を判断し、別途指令する。各支部はストライキをも含むいかなる戦術行使も可能な万全の闘争準備体制を確立すること。